

KONC

Kansai Organization for Nature Conservation

関西自然保護機構

KONC は自然保護、自然環境保全にかかわる各分野の人たちや関心を持つ人たちが幅広く結集し、研究の進歩と自然および自然環境の保護・保全に貢献することをめざして、1978年に創立されました。

KONC はその活動の成果と、個々の会員の研究成果および経験の蓄積にもとづき、関西一円における自然保護の諸問題に対する有力なアドバイザー・ボティ（助言・助言機関）として、社会の要請にこたえることを目指しています。

私たちの活動

1. 自然保護・自然環境保全に関する調査・研究の実施
2. シンポジウム・セミナー・講演会などの開催
3. 現地見学会の開催
4. 調査・研究に対する助成事業の実施
5. 会誌・ニュースの発行
6. 自然保護および自然環境保全に関する提言と助言
7. 国内外の諸団体との連絡・協力

会の活動は、個人会員・維持会員の会費により、まかなわれています。

関西自然保護機構
ホームページ

<http://www.omnh.net/konc/>

専門誌『地域自然史と保全』の発行

『地域自然史と保全』は、地域の自然特性を重視した、自然保護のための科学的情報を集めた学術誌です。
(年2回発行、査読あり、各号約80p)



専門的見地からの提言活動

会員などからの提言に基づき専門的見地から保全のための提言活動を行います。また保全委員会などにも参画しています。

最近の提言活動

- 「夢洲におけるヨシ群落及びそれに隣接する水辺環境の保全を求める要望書」(3回)
- 「日高川河口干潟」における和歌山県による日高港導流堤改修工事の実施に対する要望」(連名)
- 「信太山丘陵の保全と活用」
- 「朽木村トチノキ巨木の伐採計画について」
- 「亀岡市のアユモドキ保全について」
- 「敦賀市中池見湿地の保全について」
- 「豊中市の大阪層群露頭の保存」

研究助成

自然保護に関する研究に対して、若手研究者を中心に研究助成を行ってきました。現在までに、163件の助成を実施し、基礎研究の充実に貢献してきました。

現在助成中の研究

- 「森林生態系の物質循環に対する樹幹着生性地衣類の寄与：森林構造の変化に伴う地衣類の存在量およびリターフォールの変化」
- 「イノシシの掘り起こしが草地の埋土種子に与える効果」
- 「慶野松原のナミキソウ個体群の現状と保全管理手法の提案」
- 「生石高原の火入れ草原における希少植物の多様性維持機構の解明」
- 「ヨシに覆われた放棄ため池の刈り取り管理は水生生物群集の種多様性を回復させるか？」

シンポジウム

その時々的重要課題について、関連する研究機関、NPO、行政が参加する総合的なシンポジウムを実施し問題点の認識と解決への道筋を発信していきます。

現地見学会とセミナー

自然保護上の問題となっているフィールドを、現地を熟知した専門家の案内で見学します。また、専門家を交えたセミナーを開催しています。これらの活動を通じて、問題点の理解と整理、そして解決のための方策を模索していきます。

皆様の入会、ご支援をお待ちしています

- 個人維持会員：年会費1万円～(5000円を超える部分は寄付として扱います)
- 紙・電子媒体会員：年会費5,000円
- 電子媒体のみ会員：年会費2,500円
- 法人維持会員：研究助成やシンポジウムの支援をいただけませんか？事務局にご相談ください
- 寄付：認定NPO法人大阪自然史センターの事業として実施するため、寄付控除が受けられます

問い合わせ・関西自然保護機構 事務局 〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園 1-23 大阪自然史センター気付
Tel : 06-6697-6262 Fax : 06-6697-6306 e-mail : konc@omnh.jp